

# セルシーアン

せんちゅうの思い出は、この場所に

北大阪急行「千里中央駅」と、大阪モノレール「千里中央駅」を結ぶ道の中心部に広がる「セルシー広場」。時代、そして街の姿が移り変わっても、この場所は今も変わらず人々の思い出の舞台となっている。



## 建設は44年前！ 広場のある商業施設

15時頃だつただろうか。大階段を降りて辺りを見回してみると、話しある学校帰りの学生、休憩するサラリーマン、ベンチでお菓子を食べる親子。『セルシー広場』で皆、思い思いの時間を過ごしていた。

1972年（昭和47年）11月15日、現在「せんちゅう」として親しまれるこの地に、千里ニュータウンの中核アミューズメント施設として開業した『セルシー』。ショッピングエリアの他にボウリング場、映画館、プールに、サウナ等、様々なアミューズメントが揃う。当時では非常に珍しい、先進的な複合施設として注目と憧れを集めた。その目玉の一つでもあったのが『セルシー広場』だ。開業当時は、地域の野菜を売る朝市、陶器市なども催されていた。

### みんなの思い出がいっぱい。セルシー広場

2013年の成人式終わりにセルシー広場で撮影大会!  
今では皆、社会人です。  
あめさん

恐竜のイベントに来てみたものの、疲れて眠くてご機嫌ナナメ。  
不機嫌な子どももは、恐竜よりも怖いかも?  
エミコさん

私が千里に住み始めたころは広場に噴水があって、夏場の子どもの遊び場でした。今や子どもの子どもも30才を過ぎました。  
パープルさん

今年初めて行った盆踊り。すごい盛大な盆踊りで家族で楽しむことができた。  
ゆうひでままさん

たそがれコンサートに中学の時に出演♪演奏後、はしゃいで写真を撮りました。  
りえたけさん

子どもと一緒に、キラキラと光るステキなろうそくの道を歩きました。  
ゆうちゃんさん

投稿ありがとうございました!  
クリスマスツリーが綺麗で、娘が見とれていました。  
えみさん

photo...

今年初めて行った盆踊り。  
すごい盛大な盆踊りで家族で楽しむことができた。  
ゆうひでままさん

たそがれコンサートに中学の時に出演♪演奏後、はしゃいで写真を撮りました。  
りえたけさん

子どもと一緒に、キラキラと光るステキなろうそくの道を歩きました。  
ゆうちゃんさん

主に、人気が出る前のアーティストがデビューや新曲のプロモーションにと、こぞつて『セルシー広場』のステージに立つ。「『セルシー広場』のステージで新人が歌うと必ず大物になるジンクスがある」というのは、既に人気のあるアーティストから出演希望の依頼もある。そうだが、300人以上集まりそうな場合は、「そこまでのキャパシティーがないからと、断るのだという。それもそのはず、「寛ぎと交流のスペース」として設けられた広場であつたら、そもそも大きなプロモーションができる場所として設計されていない。最近では、多数の来場を見越して、大きな広場を設ける商業施設も多い。「セルシー」が設計されたのは45年も前。いかに、先端を行く場所であったかがわかる。

広場を臨む場所に、太田黒さんが営むブティックはある。「和やかに、家族連れが寬いで、お弁当を食べた感じでいる、そういう景色は見ていてすこく気持ちがいい」と目を細めながら話す。人々が広場で憩う様子は、昔から変わらないのだそうだ。地域の人そして家族三世代で楽しめるような場所に、広場でのイベントも地域密着を意識して企画している。昔から続く「たそがれコンサート」は地域の人間の出演を増やして「みんなの音楽会」と名を改め、毎月開催。「キッズダンスボーカルコンテスト」も盛況だ。正月は2日から獅子舞演技や祝餅つきがステージにて行われる。「せんちゅうは皆で頑張っています！」と藤原さん。周辺では新たな商業施設もできたがやはり、せんちゅうには思い出と、変わらない時間へとせる場所があるのでは。

### まさにバイオニア！ “人を集め”る広場

今回、この特集のために「セルシー広場」での思い出を教えて下さい」とのお題を出させて頂いた。集まつた回答の中でも多かったのは「歌手やアイドルのライブを見に行つた」という思い出。太田黒さんも藤原さんも、「特に広場が盛り上がるにはアーティストが来た時だ」と話す。

主に、人気が出る前のアーティストがデビューや新曲のプロモーションにと、こぞつて『セルシー広場』のステージに立つ。「『セルシー広場』のステージで新人が歌うと必ず大物になるジンクスがある」というのは、既に人気のあるアーティストから出演希望の依頼もある。そうだが、300人以上集まりそうな場合は、「そこまでのキャパシティーがないからと、断るのだという。それもそのはず、「寛ぎと交流のスペース」として設けられた広場であつたら、そもそも大きなプロモーションができる場所として設計されていない。最近では、多数の来場を見越して、大きな広場を設ける商業施設も多い。「セルシー」が設計されたのは45年も前。いかに、先端を行く場所であったかがわかる。

広場を臨む場所に、太田黒さんが営むブティックはある。「和やかに、家族連れが寬いで、お弁当を食べた感じでいる、そういう景色は見ていてすこく気持ちがいい」と目を細めながら話す。人々が広場で憩う様子は、昔から変わらないのだそうだ。地域の人そして家族三世代で楽しめるような場所に、広場でのイベントも地域密着を意識して企画している。昔から続く「たそがれコンサート」は地域の人間の出演を増やして「みんなの音楽会」と名を改め、毎月開催。「キッズダンスボーカルコンテスト」も盛況だ。正月は2日から獅子舞演技や祝餅つきがステージにて行われる。「せんちゅうは皆で頑張っています！」と藤原さん。周辺では新たな商業施設もできたがやはり、せんちゅうには思い出と、変わらない時間へとせる場所があるのでは。



オープン当時、世間では「セルシーへ行くの」という合言葉が流行。『セルシー広場』には歌手・アイドルがPRに訪れたり、ラジオの公開録音や、季節ごとのイベントが開催される等、活気に溢れていた。納涼祭やクリスマス装飾、正月のイベントは、40年以上経った今でも続いている



セルシー会 副会長  
太田黒 淳子さん  
セルシービル  
マネジメントオフィス  
藤原 裕さん